

2022年度事業計画

1. 実施する事業および実施体制

(1) 教育事業

事務局が参加者を募集し、講師や依頼事務局と調整を取りながら推進する。

- ・ 101 自然観察会：西中国山地の自然を対象とした観察会を開催
- ・ 102 ハカセ喫茶：博士・医師によるサイエンスカフェを随時開催
- ・ 103 ガイド養成：芸北トレッキングガイドの会のガイドを対象とした研修を開催
- ・ **104** 教育ツアー受け入れ（旧：せどやま教育）：学校の授業等や視察受け入れの実施
 - 子プロ・修学旅行
 - 企業や自治体からの視察
 - 環境学習のプログラム実施（環境パートナーひろしまより受託予定）
- ・ 105 山の日：山の日行事に実行委員会として参画し、事務局を担当
- ・ 106 シンポジウム：予定なし
- ・ 107 職員研修：職員のスキルアップのための研修や、先進地視察等を実施
 - ユンボ資格取得1名 6月ごろ予定
- ・ 108 講師派遣：他団体の依頼に応え、専門員等講師を派遣
 - 小中学校への派遣
- ・ 109 森林施業講習：伐倒や刈り払いに必要な意識・知識・技術についての講習会を開催
 - チェーンソーの安全講習会秋頃予定
- ・ 112 支所カフェ：北広島町役場芸北支所2階でカフェ形式のトークイベントを随時開催

(2) 調査・研究事業

- ・ 201 霧ヶ谷湿原のモニタリング：専門員の指導による両生類の産卵調査を参加型で開催
 - 事務局が参加者を募集し、講師と調整を取りながら実施
- ・ 202 雲月山草原のモニタリング：専門員によるチョウ類の生息調査を実施
 - 蛾類ライトトラップ：5/28からスタートし随時予定
 - ゴマシジミ：8月予定
- ・ 203 学術調査：
- ・ **204** 資料収集：新聞の記事収集とデジタルアーカイブの整備を事務局が実施
 - 剥製2体製作/ミヤマホオジロとアカエリヒレアシシギ（2021年度ひろしまNPOサポート倶楽部寄付金）4月に制作済み
 - 植物標本整理と活用

(3) 保全活動事業

地域住民・ボランティアなど、様々な主体と協働により、必要な体制を取り推進する。

- ・ **302** ブッポウソウの保全：観察会および作成した巣箱設置を継続。アカショウビンでも巣箱設置し繁殖の調査（サントリー愛鳥基金/公益信託サントリー世界愛鳥基金）
- ・ 303 雲月山の草原保全：事務局が計画・調整し、ボランティアにより実施
 - 体制づくりを検討
- ・ 304 千町原の草原保全：理事が計画・調整し、ボランティアにより継続的に実施（一部里山コモンズ事業）
- ・ 305 霧ヶ谷の湿原保全：自然再生協議会に参画し、現地作業の参加者を会員から募集
- ・ 306 せどやま会議運営：森林整備、里山保全を目的とした芸北せどやま再生事業を推進
- ・ 307 芸北茅プロジェクト：実行委員会と連携し推進する
- ・ **308** 里山保全：
 - 広島県の特認事業として、みどりの広場周辺の森林整備を北広島町からの委託により実施する予定（広島県森づくり特認事業/広島県）
 - ひろしま木づかい推進協議会（広島県） 委員として出席
 - 森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会（広島県森林協会） 委員として出席
- ・ 309 サクラソウの保全：自生地の整備やモニタリングの継続
- ・ 310 気候変動対応：予定なし
- ・ **311** 八幡湿原の保全：尾崎沼湿原や長者原湿原などの保全
 - 八幡湿原の観察会 3 回に合わせて、通路の整備
 - 長者原湿原のロープを張る杭の修繕
- ・ **312** 里山コモンズ事業：現代版の「里山コモンズ」を構築して、放棄される里山を保全する（セブン-イレブン記念財団 環境市民活動助成）
- ・ **313** ヤマセミの保全活動：北広島町内の繁殖調査の結果をうけて、芸北では 2 ヶ所のみ繁殖となっており、10 年前の 10 つがいから 2 つがいに減少から、人口巣箱の設置を試み、個体数の回復を図る。

(4) 情報発信事業

事務局員で実施する。

- ・ 402 ホームページ運営：ホームページおよび facebook ページを事務局が運営
- ・ 405 受賞出席：予定なし
- ・ 404 ブース出展：予定なし
- ・ 406 報告会出席：予定なし
- ・ 407 ファンドレイジング：「寄付バッジ」を作成し、寄付を募集。観察会手帳も作成。

(5) 高原の自然館事業

事務局員 2 名をもって実施し、必要に応じて、臨時の職員を雇用する。

- ・ 501 高原の自然館活動：高原の自然館窓口での受付や館内清掃、及び標本の整理

- 北広島町教育委員会からの事業受託
- ・ 503 印刷サービス：写真やポスターの印刷や作成。

(6) 物品販売事業

高原の自然館窓口を中心に、事務局員2名で推進する。

- ・ 601 仕入販売：ポストカード、マップ等の商品を販売
- ・ 602 預かり販売（個人）：バッヂやタオルなどのグッズを預かって販売
- ・ 603 預かり販売（北広島町）：高原の自然史、フィールドガイド等を販売
- ・ 604 配送：販売物品の配送
- ・ 605 オンライン販売
 - 町内利用促進を、民間からの委託によりエリアマネージャーとして推進（広島ギフトいちばん屋）→制度が終了

(7) 地域づくり支援事業

事務局員2名が関係機関と連携しながら実施。

- ・ 701 印刷請負：地域イベントなどのチラシ印刷を請負
- ・ 702 芸北民俗博物館：博物館において民藝や地域の歴史に関わるイベントを実施
 - 石器の勉強会実施後次年度にむけての観察会の検討
- ・ 703 地域連携
 - 芸北地域の空き家を活用する方法を「勿体無いズ」グループとして検討
 - 芸北地域振興協議会（芸北支所）：役員として出席
- ・ 704 芸北ブランディング事業
 - 西中国山地国定公園保護と利用の好循環計画協議会 検討委員として出席
- ・ 705 芸北分校魅力化コーディネーター
 - 芸北分校へコーディネーター1名の派遣
 - 総合的な学習の支援や、講演会の企画、ファンドレイジングの検討
 -

(8) 運営事業：

事務局員2名をもって、会員管理、会計、事務委託などを推進する。

※ 事業番号を□で囲んでいるものは、新規事業です。